

みずほCustomer Desk Report 2020/03/30号(As of 2020/03/27)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.05
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.15	1.1047	120.51	1.2171	0.6078
SYD-NY High	109.78	1.1148	121.00	1.2484	0.6200
SYD-NY Low	107.75	1.0954	118.83	1.2135	0.6024
NY 5:00 PM	107.99	1.1138	120.31	1.2446	0.6169
NY DOW	21,636.78	▲ 915.39	日本2年債	-0.190	6.00bp
NASDAQ	7,502.38	▲ 295.16	日本10年債	0.006	0.55bp
S&P	2,541.47	▲ 88.60	米国2年債	0.2448	▲ 5.19bp
日経平均	19,389.43	724.83	米国5年債	0.3997	▲ 12.65bp
TOPIX	1,459.49	60.17	米国10年債	0.6739	▲ 17.17bp
シカゴ日経先物	18,880.00	▲ 595.00	独10年債	-0.4790	▲ 11.25bp
ロンドンFT	5,510.33	▲ 305.40	英10年債	0.3610	▲ 3.45bp
DAX	9,632.52	▲ 368.44	豪10年債	0.9195	1.45bp
ハンセン指数	23,484.28	131.94	USDJPY 1M Vol	14.45	0.89%
上海総合	2,772.20	7.29	USDJPY 3M Vol	12.30	0.70%
NY金	1,625.00	▲ 26.20	USDJPY 6M Vol	10.85	0.50%
WTI	21.51	▲ 1.09	USDJPY 1M 25RR	-5.25	Yen Call Over
CRB指数	123.88	▲ 2.46	EURJPY 3M Vol	11.50	0.60%
ドルインデックス	98.37	▲ 0.99	EURJPY 6M Vol	10.70	0.51%

東京	東京時間のドル円は、109.15レベルでオープン。シドニー時間に109.78を付けるも東京時間には年度末を控えた輸出の売りや日本企業によるヘッジの動き、海外投機筋によるドルロングの巻き戻しにより108.24まで下落し8日ぶりの安値を付けた。その後108円台前半までの推移が続き、108.49レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円はリスク回避から円が買われた。108.49レベルでオープン。欧州株の下落を背景に108円台後半で軟調地合いとなり108.76レベルでニューヨークへ渡った。ポンドは1.2262レベルでオープン。新型コロナウイルス感染防止のため都市封鎖となり打撃を受けた個人事業主に毎月最大2,500ポンドを助成することが昨日政府より表明された。英景気への大打撃懸念が若干和らぎポンドは支えられ1.2295まで買われた。しかし、お昼頃にシドニー英首相のコロナ感染のニュースが出ると今後の政局運営が一部で不安視され上値は限定的となり1.2250レベルでニューヨークへ渡った。(00531 444 179ロンドン・トルジャー 西海)
ニューヨーク	ドル買い意欲の後退に海外市場で108.24まで下落したドル円は、108.76レベルでオープン。朝方は米2月個人所得が予想を上回ったものの、新型コロナウイルスの悪影響が出る前の数字なのでドル円の反応は限定的。その後カダ中銀が緊急利下げを発表したものの、反応は薄く、108.80付近での推移がしばらく続く。10時のミシガン大学消費者信頼感指数(確報値)が予想以上に悪化したことが織り込み済みでこの結果を受けた反応は限定的となるが、株式市場が軟調に推移し円買いが強まる中、ドル売りも継続したことから107.87まで下落する。その後25日に上院で可決された2兆ドルの景気刺激法案が下院でも可決されたこともあり、一旦108円台前半へ戻す局面もあったがドル売り継続に、107.75まで下げる。終盤になり、Fedが来週は3/30〜4/1までは700億の財務証券購入を実施するが、2〜3日は600億ドルに減額すると発表すると、売りが落ち着いていた株式市場で再び売りが優勢となったが、ドル円の反応は限定的となり、107.99レベルでクロスした。一方、ユーロはドル売りに海外市場で1.1087まで戻すが、その後は軟調な欧州株式の動きにユーロの売りが強まり、ユーロも連れて下落し、1.1007レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、1.0954まで下落するが、その後ドル売りが一層強まったことから、1.1092まで戻す。午後ドル売りが止まらず、1.1148まで戻し、1.1138レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

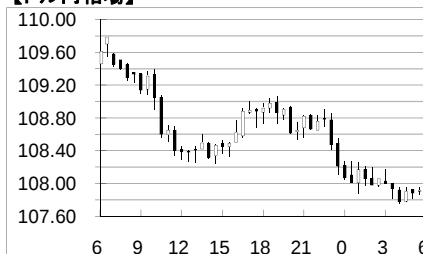
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月27日	21:30	米 個人所得	2月 0.6%	0.4%
	21:30	米 個人支出	2月 0.2%	0.2%
	21:30	PCEコア(前月比)	2月 0.1%	0.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	3月 89.1	90

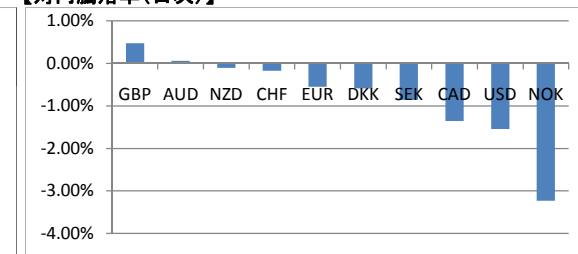
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月30日	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	2月 -2.0%	5.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 新たなレンジを形成するか

米国の新型コロナ感染者数は、遂に中国を抜き、イタリアに次いで世界第2位となった。米政府はNY州をはじめ複数州をロックダウンするなど、感染封じ込めに乗り出すも、留まることを知らないウィルスの感染拡大。先週発表された米週間失業保険申請件数は前週から300万件増加し328万件と、リーマンショックを大幅に上回る過去最多を記録。ロックダウンの影響を考えると、少なくとも4・5月に公表される米主要経済指標は軒並み悪化の一途を辿ることとなりそう。過去最長の米景気拡大局面は終焉を迎えた今、米景気悪化と共に米株・米金利・ドルのトリプル安局面到来を予想する。

FRBはゼロ金利政策や無期限無制限の量的緩和を導入、ECBは各国資産購入の上限を撤廃、さらにG20はコロナ対策として約5兆ドルの資金投入を決定するなど、信用収縮によるドル逼迫を阻止すべく主要中銀・政府が全力で出動したことを受け、3月中旬のバニック的なドル逼迫からは少しずつ緩和しつつあることが、ドル円のベシスマーケットからは確認できる状況であり、個人的にはこのまま序々にドル調達コストも落ち着きを取り戻すと考えている。この場合、これまでドル需要に伴い上昇していたドル円も緩やかに下落していくことが予想される。2017年1月のトランプ大統領就任以降、105-110円のレンジ相場が続いていたが、2020年度は急速に高まったドル需給逼迫緩和・米景気悪化を背景に米株・米金利・ドルのトリプル安のもと、ドル円100-110円という新たなレンジを形成するのではないだろうか。もちろん、米景気悪化の速度と深度が想定内の場合、という大前提のもとではあるが。(逸見)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
8	12